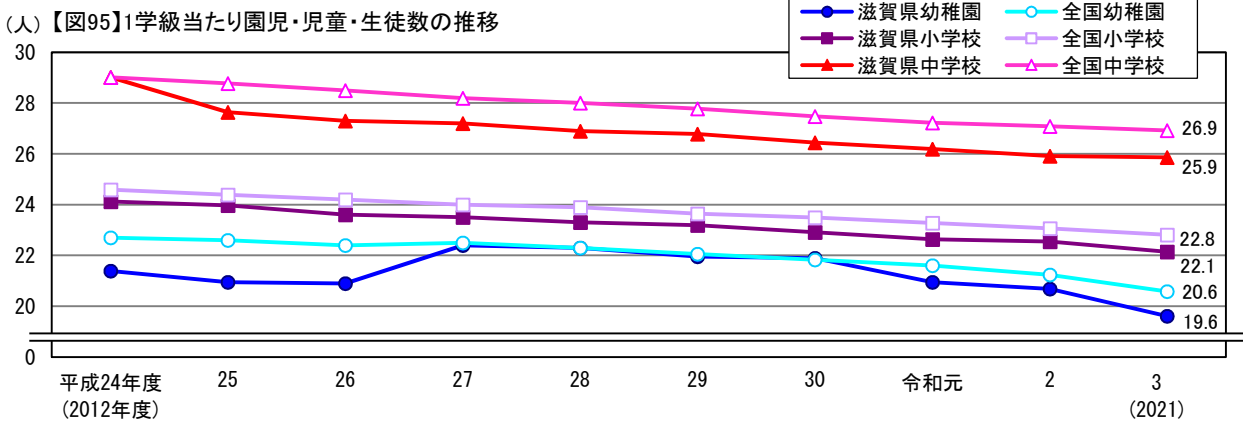
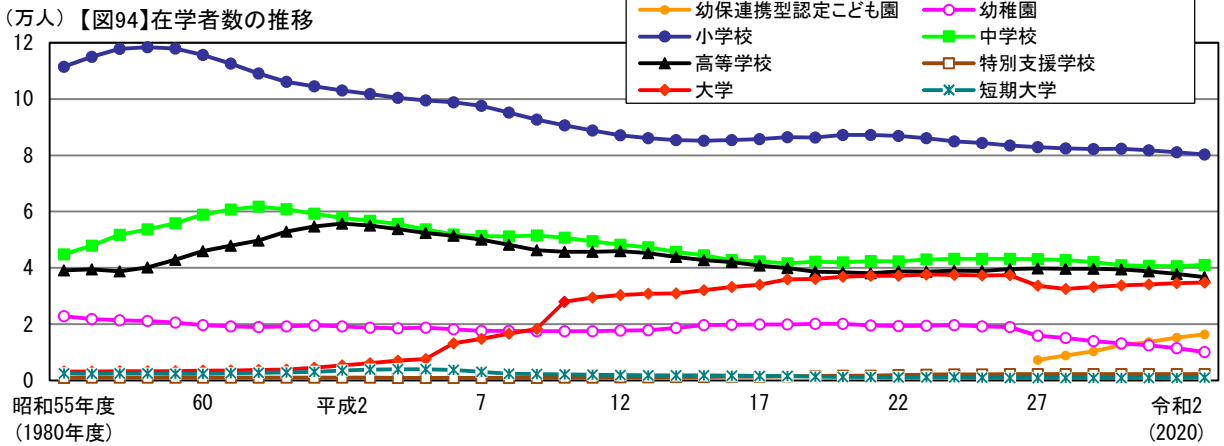
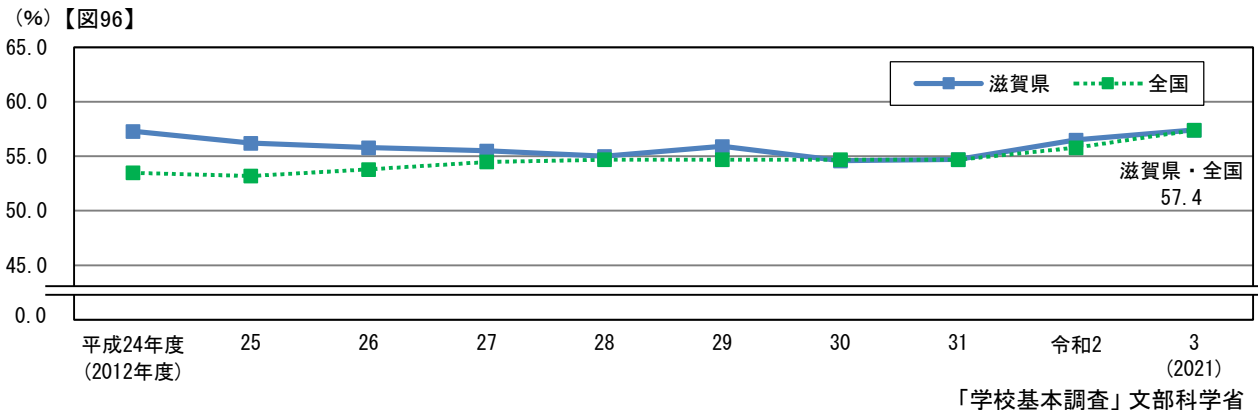


# 教育・文化・観光

## 園児・児童・生徒・学生数の推移



## 高等学校（全日制・定時制）卒業者の大学等への進学率の推移



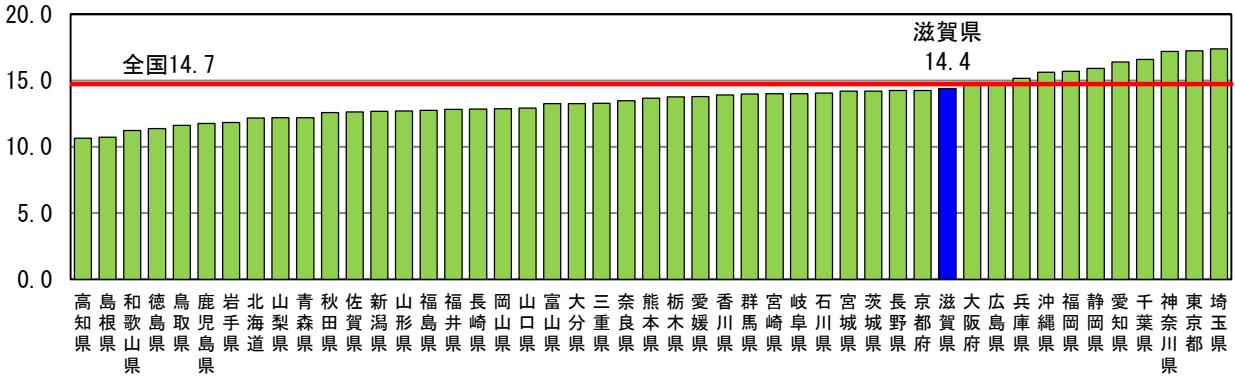
・令和3年5月1日現在の県内教育機関の在学者数は、幼稚園10,120人、幼保連携型認定こども園16,367人、小学校80,289人、中学校41,086人、高等学校36,673人、特別支援学校2,258人、短期大学983人、大学34,760人である。(図94)

・滋賀県の1学級当たりの園児・児童・生徒数は、5年前と比較すると、幼稚園は2.7人減、小学校は1.2人減、中学校は1.0人減となっている。(図95)

・令和3年3月の高等学校の卒業者12,524人のうち、大学等への進学者は7,190人で進学率は57.4%である(全国平均57.4%)。(図96)

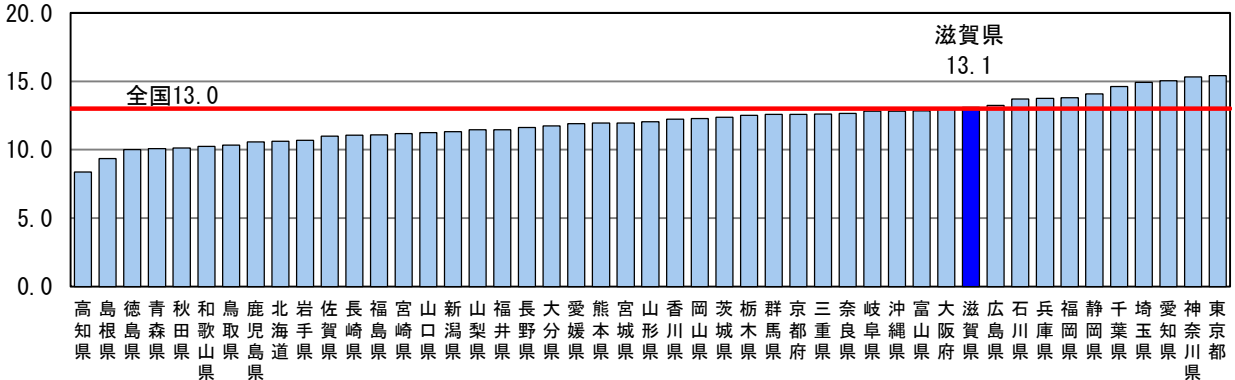
## ■ 小学校の児童数・中学校の生徒数

(人) 【図97】教員1人当たり児童数(小学校)



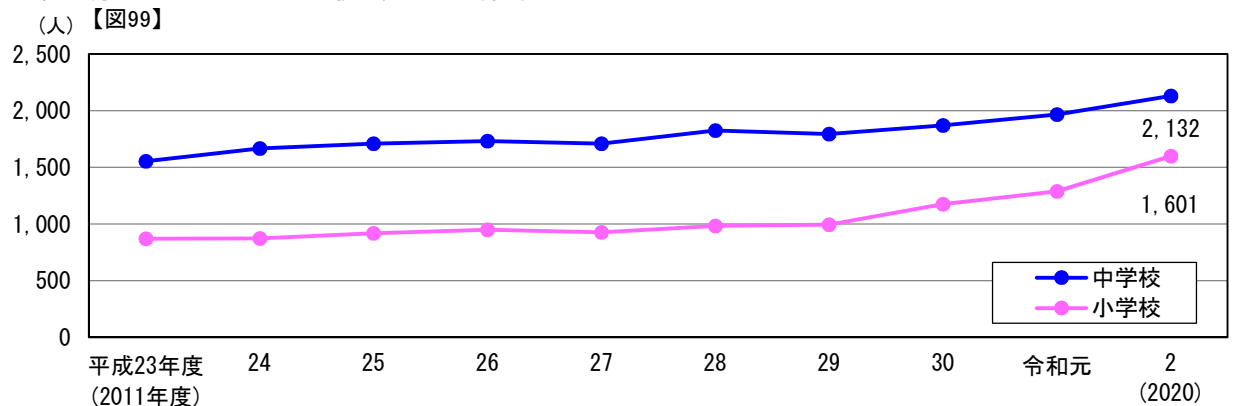
「学校基本調査」文部科学省(令和3年度)

(人) 【図98】教員1人当たり生徒数(中学校)



「学校基本調査」文部科学省(令和3年度)

## ■ 長期欠席児童・生徒数<sup>\*1</sup>の推移



\*1 病気、経済的理由、不登校、新型コロナウイルスの感染回避、その他の理由により、30日以上欠席した児童・生徒数

平成23~26年度「学校基本調査」文部科学省

平成27~令和2年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」文部科学省

### くらしの数字

教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数

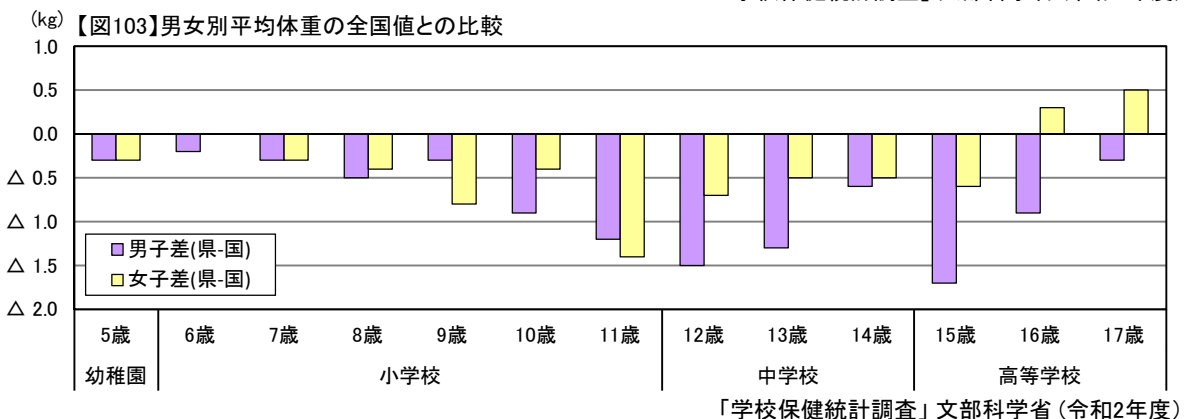
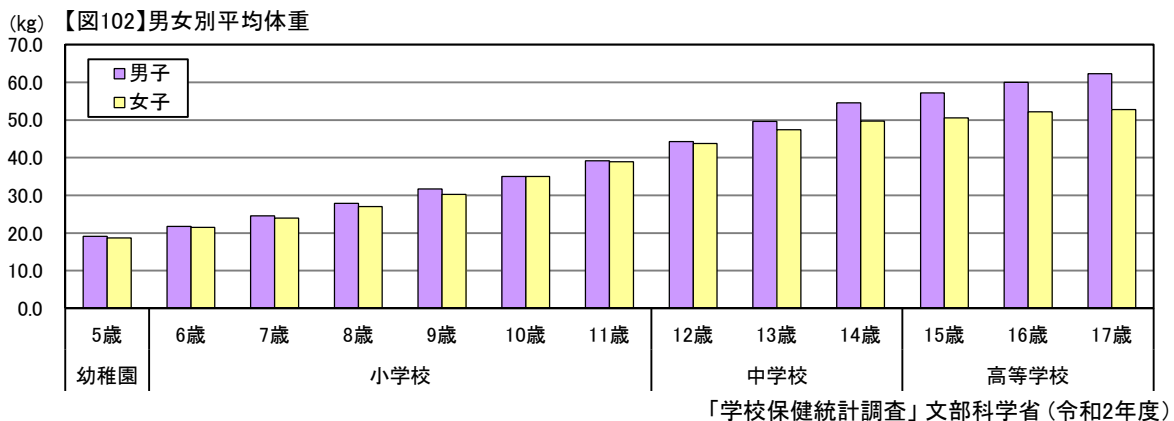
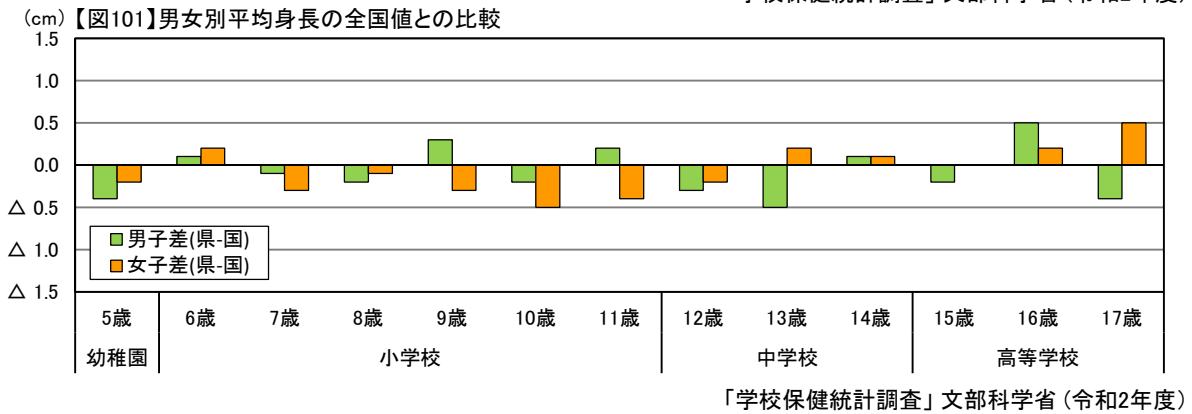
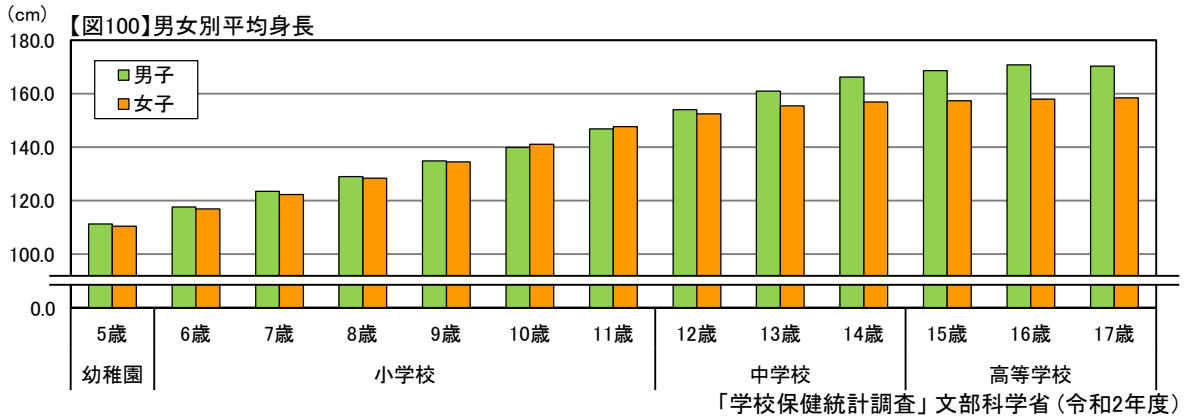
小学校 1.2人/台、中学校 1.0人/台  
義務教育学校 2.5人/台  
高等学校 4.8人/台、特別支援学校 4.7人/台

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」文部科学省(令和2年度)

・令和3年度の小・中学校の教員1人当たりの児童・生徒数をみると、滋賀県は小学校が14.4人で全国の少ない順から36位、中学校が13.1人で全国の少ない順から37位である。(図97)(図98)

・令和2年度の長期欠席者(連続または断続して30日以上欠席した児童・生徒)は、小学校が1,601人、中学校が2,132人であった。(図99)

## ■ 幼児・児童・生徒の体格



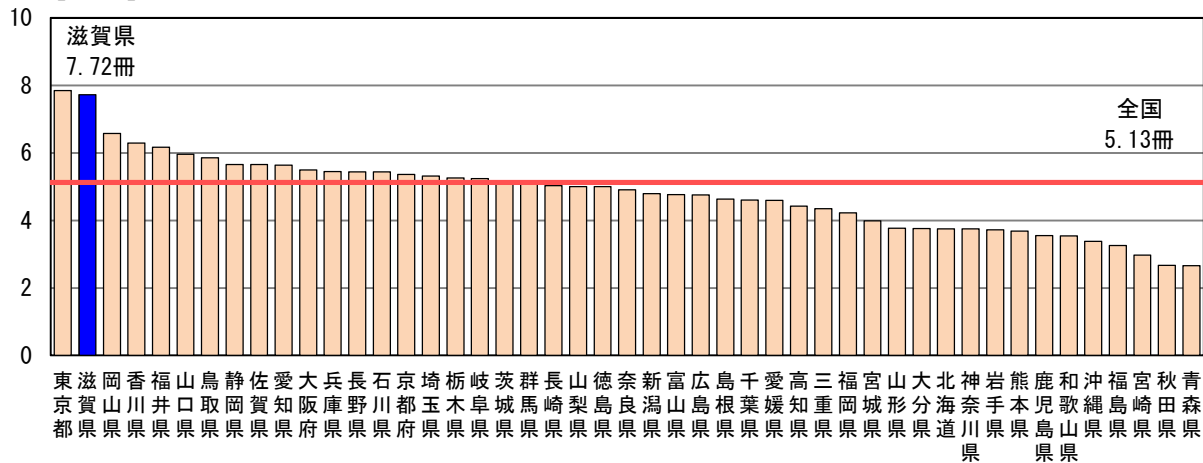
※2 学校保健統計調査の調査期間は例年4月1日から6月30日ですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査期間が年度末まで延長されました。そのため、令和2年度の数値と過去の数値の単純比較はできません。

・身長は、男子は6歳、9歳、11歳、14歳および16歳で、女子は6歳、13歳、14歳、16歳および17歳で全国平均値を上回った。(図100)(図101)

・体重は、男子は全ての年齢で、女子は5歳および7歳～15歳で全国平均値を下回った。(図102)(図103)

## ■ 公立図書館の1人当たり図書貸出冊数 <sup>\*2</sup>

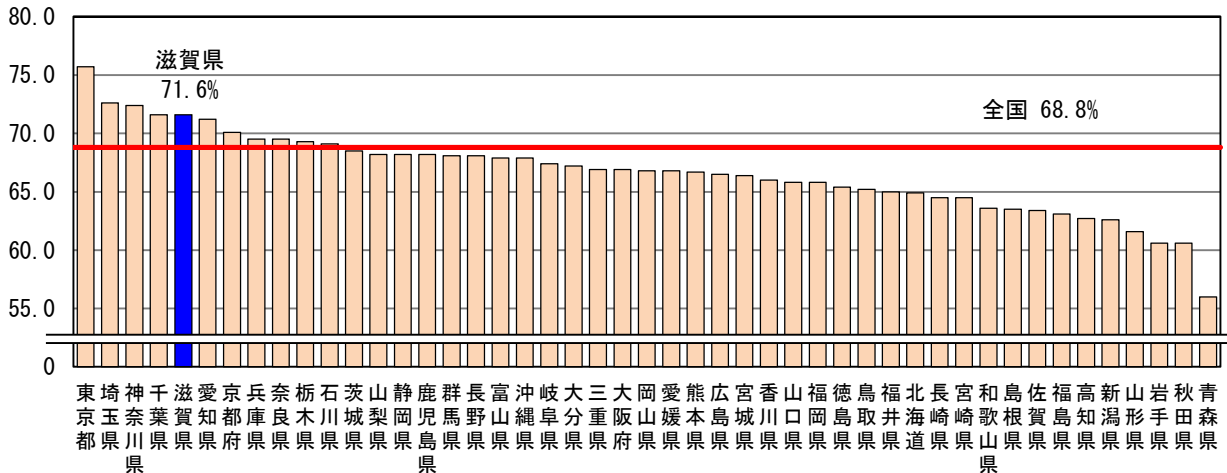
(冊) 【図104】



\*2 公立(都道府県立および市区町村立)図書館貸出冊数(団体貸出冊数除く)／都道府県人口(平成31年1月1日現在の住民基本台帳人口)  
 「日本の図書館統計と名簿2020」(公社)日本図書館協会(令和元年度)

## ■ スポーツ年間行動者率 <sup>\*3</sup>

(%) 【図105】



\*3 10歳以上人口に占める過去1年間(平成27年10月20日～平成28年10月19日)にスポーツを行った人の割合  
 ※3 「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

「平成28年社会生活基本調査」総務省統計局

### くらしの数字

○公立図書館の専任職員の司書有資格者率 82.9% (全国1位)

○公立図書館の1人当たり蔵書冊数 7.14冊 (全国2位)

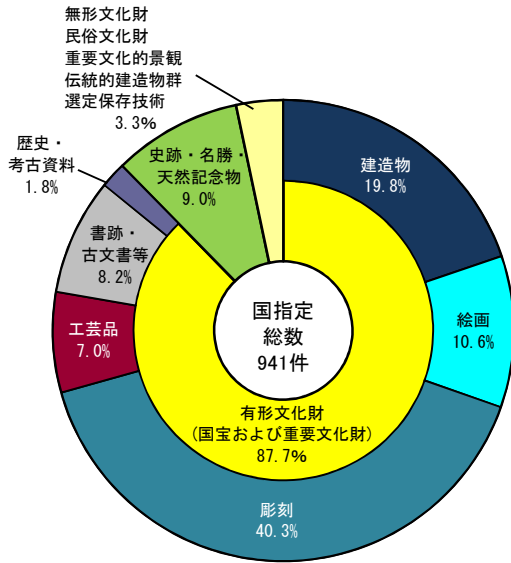
「日本の図書館統計と名簿2020」(公社)日本図書館協会(令和元年度)

・令和元年度の公立図書館貸出冊数は1人当たり7.72冊で全国2位である(全国平均5.13冊)。(図104)

・平成28年のスポーツ年間行動者率は71.6%で、千葉県と同率で全国4位である(全国平均68.8%)。(図105)

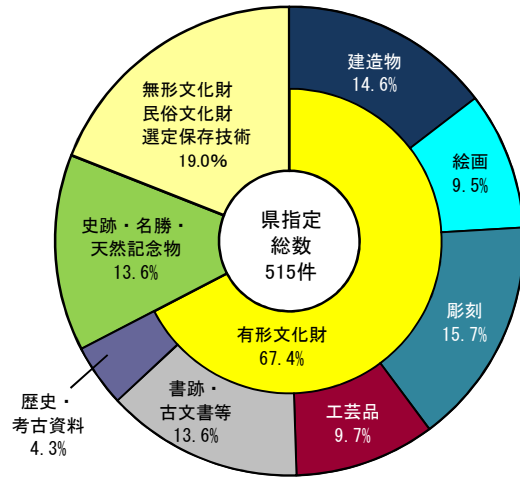
## ■文化財

【図106】国指定(選択含む)文化財の構成比



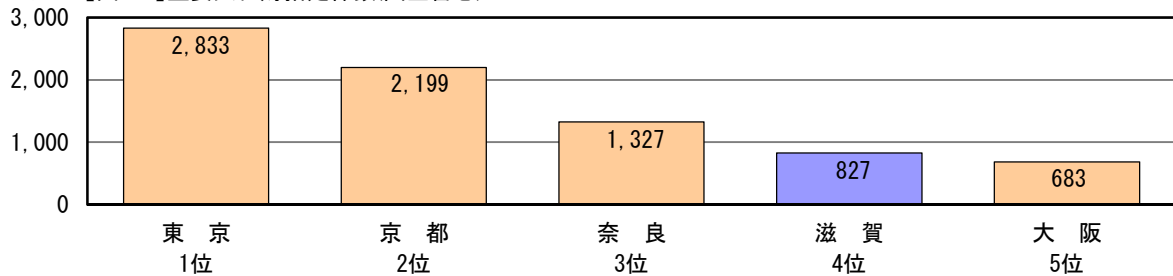
県文化財保護課  
(令和3年3月31日現在)

【図107】県指定(選択含む)文化財の構成比



県文化財保護課  
(令和3年3月31日現在)

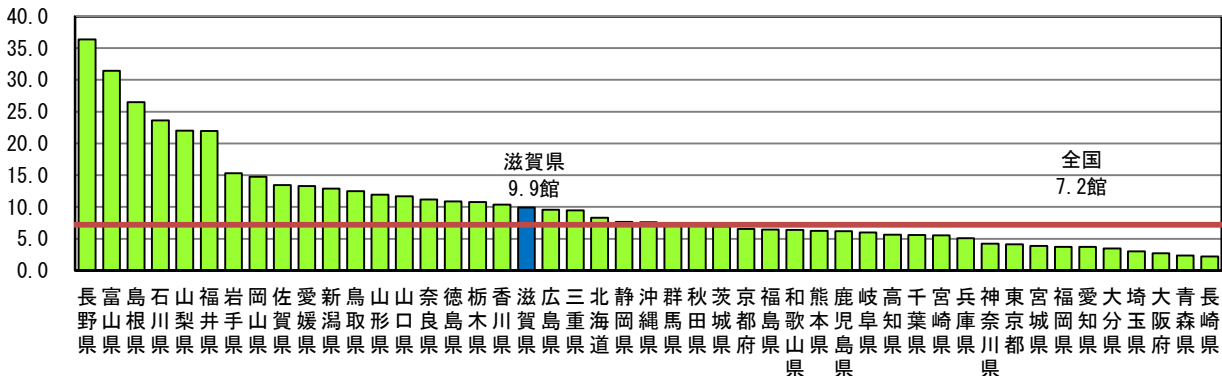
(件) 【図108】重要文化財指定件数(国宝含む)



文化庁 (令和4年2月1日現在)

## ■人口百万人当たりの登録博物館数

(館) 【図109】



「社会教育調査」文部科学省 (平成30年10月1日現在)  
「人口推計」総務省統計局 (平成30年10月1日現在)

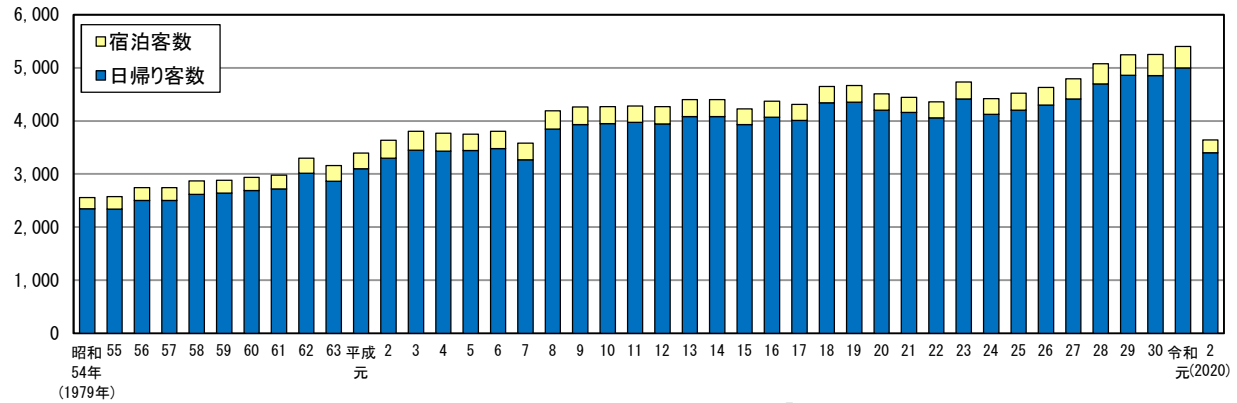
・令和3年3月31日現在の文化財件数は国指定(選択含む)941件、県指定(選択含む)515件である。文化財の種類では国、県指定(選択含む)ともに彫刻、建造物の占める割合が高い。(図106)(図107)

・重要文化財指定件数(国宝含む)は827件で、東京都、京都府、奈良県に次いで全国4位である。(図108)

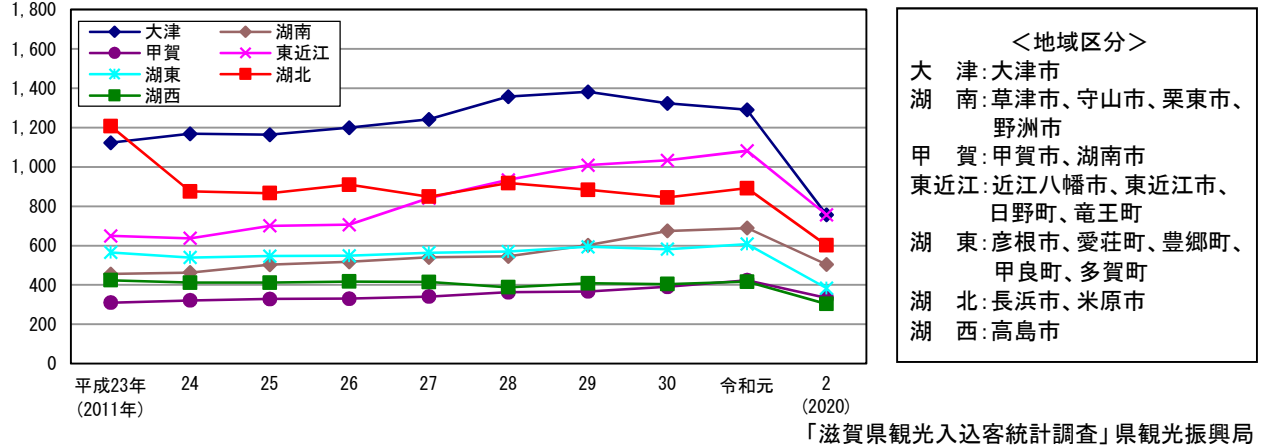
・平成30年10月1日現在の人口百万人当たりの登録博物館数は9.9館で全国19位である(全国平均7.2館)。(図109)

## ■観光入込客数

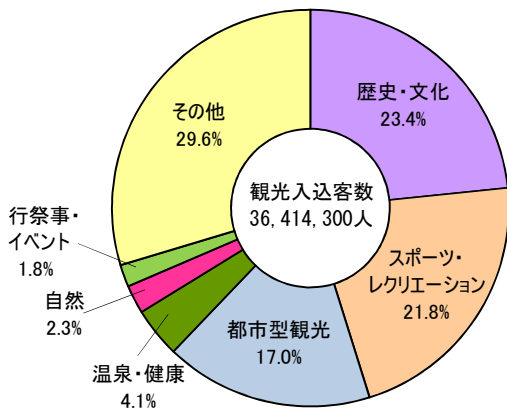
(万人) 【図110】観光入込客数の推移



(万人) 【図111】地域別観光入込客数の推移

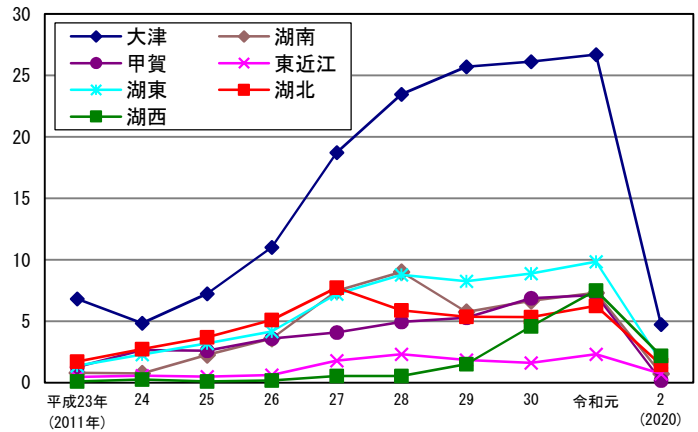


【図112】観光入込客数(目的別)



「滋賀県観光入込客統計調査」県観光振興局(令和2年)

(万人) 【図113】地域別外国人観光入込客数の推移



・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年の観光入込客数は、前年の5,403万6,100人から32.6%の減少となる3,641万4,300人であった。(図110)

・地域別にみた観光入込客数も、令和2年は全ての地域で前年より減少した。特に、びわ湖花火大会等の大規模イベントの中止があった「大津」は、対前年増減率が県内で最も高い41.4%の減少となった。(図111)

・令和2年の観光入込客数を目的別にみると、「歴史・文化」が23.4%、「スポーツ・レクリエーション」が21.8%などとなっている。(図112)

・外国人観光入込客数も、令和2年は県全体で前年比82.5%減と大幅な減少となり、11万7,562人であった。地域別では「大津」の観光入込客数が最も多く、47,420人であった。(図113)